公募テーマの詳細
【共同研究開発型（無償）】

＜テーマ設計の背景等＞

Theme. 2	通信途絶環境下における情報共有手法の研究
テーマ設定の背景	令和６年１月１日に発生した能登半島地震では、電力の停止や通信施設の破損によって広範囲のインターネット等の通信途絶が報告されています。震災時や林野火災時では通信途絶が想定されるため、無線等により音声通信が基本となっていますが、近年、様々な通信技術が開発されており、高度な情報共有が実施できる可能性があるため、災害現場等で想定されるケースごとに、有効な通信技術の可能性を確認する必要があります。
現状の課題	通信途絶時に通信容量の多い情報共有ができず、デジタル地図の活用や写真、動画の送付等が困難となっている
技術検証のイメージ	様々な環境下における検証を実施し、消防業務や活動に応じた情報共有の可能性を研究
採択する企業の目安	若干数
当庁から提供可能なリソース等	訓練での検証 消防職員による検証等
想定する技術等の一例	インターネット途絶時においても、迅速かつ正確に容量の大きな情報を共有できる技術

＜スケジュール（予定）＞

企画提案書受付期間	２０２６年１１月９日から１１月２５日まで （質問受付期間：１１月９日から１１月１６日まで）
審査期間	２０２６年１１月下旬頃
結果公表	２０２６年１２月上旬頃
契約締結期間	２０２６年１２月中旬頃
研究期間	令和９年３月３１日まで（必要により延長）
報告書の提出	契約期間終了時まで